

## セカンドオピニオン外来のご案内

### 一部の診療科で「セカンドオピニオン外来(相談)」を始めます

東京大学医学部附属病院  
外来診療運営部

近年、医療をとりまく環境の急速な変化により、セカンドオピニオンを求める患者さんが大幅に増加しています。その結果、外来受診中にセカンドオピニオンを求める方に十分な時間をかけてお話しすることが難しくなっているだけでなく、他の一般外来の患者さんをお待たせする時間が長くなり、ご迷惑をおかけしております。

そこで、当院でも一部の診療科で、セカンドオピニオンの提供を専門とする外来を設置し、運用する運びとなりました。

本紙をよくお読みいただき、趣旨を十分ご理解の上、お申し込みください。

#### I セカンドオピニオン外来の目的

セカンドオピニオン外来では、当院以外の主治医におかかりの患者さんを対象に、現在の診断・治療に関して当院の専門家が意見を提供いたします。その意見や判断を、患者さんがご自身の治療法を選ぶ際の参考にしていただくことが目的です。

- ・ 新たな検査や治療は行わず、患者さんからのお話や主治医の先生からの資料の範囲で判断をくださることになりますので、検査データ等が必要になります。
- ・ 主治医の診断・治療方針に関しての意見を提供することが本来の目的ですから、主治医の情報提供書が必要です。

#### II セカンドオピニオン外来の対象となる方

- ・ 患者さんご本人の相談を原則とします。
- ・ やむを得ず患者さんご本人が来院できない場合は、相談同意書をお持ちになればご家族だけでも相談可能です。

※ご家族とは＝3親等以内とします。

※患者さんが18歳未満の場合には、必ずしも相談同意書を必要としませんが、続柄を確認できる書類（健康保険証など）をお持ちください。

#### III 国外在住で日本の保険証をお持ちでない方

- ・ セカンドオピニオン外来の対応は行っておりません。

#### IV 相談内容

- ・ 現在の診断・治療法に関する専門医としての意見提供
- ・ 今後の治療法や見通しに関する専門医としての意見提供

## V セカンドオピニオンをお受けできない場合

- ・ ご本人・ご家族以外からの相談。ご家族でもご本人の相談同意書をお持ちでない場合（ただしご本人が 18 歳未満の場合を除く）。
- ・ セカンドオピニオン外来相談時に、当院での治療など診療行為を希望される場合
- ・ 最初から転医、転院をご希望の場合
- ・ 主治医に対する不満、医療過誤および裁判係争中に関する相談
- ・ 死亡した患者さんを対象とする場合
- ・ 医療費の内容、医療給付に関する相談
- ・ 主治医が了承していない場合
- ・ 当院から指定された相談に必要な資料（診療情報提供書・検査データ、レントゲンフィルムなど）をお持ちでない場合
- ・ 相談領域に対応できる専門医が当院にいない場合
- ・ 予約をしていない方

## VI セカンドオピニオン外来の診療科と相談可能な疾患

別紙 1 参照

## VII 相談日と時間帯、場所

- ・ 完全予約制です。
- ・ 相談日は診療科により異なります。セカンドオピニオンをお受けする場合に、候補日をお知らせし日程を調整いたします。
- ・ 相談時間は、30 分を原則とさせていただきます。相談内容により最長 60 分まで延長いたします。なお、お持ちになった資料を拝見する時間も、相談時間に含まれますので、ご承知おきください。
- ・ 相談時間終了後、主治医への返信を作成し、患者さんにお渡しします。  
※当日のお渡しが困難な場合は主治医に直接郵送いたします。
- ・ ご相談は各診療科の診察室で実施します。

## VIII 料金

- ・ 30 分単位 22,000 円。30 分超 60 分まで 44,000 円（最長 60 分です）
- ・ 全額自費で、健康保険は適用されません。
- ・ 相談料金は、ご相談が終了した後に会計窓口でお支払いいただきます。
- ・ お問い合わせやご予約に料金はかかりません

## IX セカンドオピニオン外来に当日持参していただくもの

## ■ 必ず必要なもの

- 診療情報提供書
- 意見提供するうえで必要データ、資料

\* 病気の状態に応じて必要な資料は異なりますが、具体的には次のようなものです。

- 血液検査記録
- 生理学的検査の結果（心電図、呼吸機能、脳波など）
- レントゲンフィルム
- 超音波検査の結果と画像
- MRI 検査、CT 検査のフィルム
- 病理組織検査の報告書
- お薬手帳（老年病科のみ必須） など

\* 当日、主治医からの情報や検査資料をお持ちでない場合は、一般的なお話しができず、有効なセカンドオピニオンは提供できないため、ご予約いただいても、ご相談に応じられない場合があります。あらかじめご了承ください。

## ■ ご本人が来院できず、ご家族だけでご相談を受けられる場合

- 患者さんご本人の署名がある相談同意書

※ ご相談者との続柄を示す書類（戸籍謄本など）をご用意ください。

※ 病状等により同意書の記入ができない場合は、そのことを確認できる書類をご用意ください。

## ■ 患者さんが 18 歳未満の場合

- ご相談者との続柄を示す書類（健康保険証など）

## X セカンドオピニオンをとるまでの主な手順

- 主治医にセカンドオピニオンをとりたい旨相談し、同意を得る。
- 必要資料を入手する。

ダウンロードできない場合には東大病院セカンドオピニオン担当へ電話でお申込みください。

【東大病院 セカンドオピニオン担当】

電話：03-5800-8630（予約センター）

自動音声ガイダンスが流れます。番号選択になりますので、セカンドオピニオンの「4」を選択してください。

受付時間：10：00～17：00（土日祝日を除く平日）

\* ダウンロードできるもの

- セカンドオピニオン外来のご案内（本紙）
- セカンドオピニオン外来申込書
- セカンドオピニオン外来相談シート
- 相談同意書<患者さんご本人が来院できない場合>

- ・ 「セカンドオピニオン外来のご案内」（本紙）をよく読み、セカンドオピニオンを希望する診療科を決める。
- ・ 主治医に診療情報提供書、検査データ等の提供を依頼する。
- ・ 必要書類を地域医療連携センター宛へ送付する。

①セカンドオピニオン外来申込書

②セカンドオピニオン外来相談シート

③相談同意書（必要な方のみ）

④（老年病科のみ必須）服用しているお薬のリストまたは、お薬手帳のコピー

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院

地域医療連携センター セカンドオピニオン外来担当 宛

※申込書の連絡先には携帯電話番号の記載をお願いします。

- ・ 当院より、相談の可否、追加で必要な資料、相談日などを電話にて通知する。
- ・ 当日、本人が来院できない場合は、相談同意書を準備する。
- ・ 指定日時の45分前までに来院し、外来棟1階①番初診窓口にて受付をする。
- ・ 主治医に、セカンドオピニオン相談結果報告書を持参し、検査データの返却をする。

## XI その他

- ・ 申し込みのキャンセルや相談日の変更を希望する場合は、お早めにご連絡ください。
- ・ 本院のセカンドオピニオン外来では、その場で転医をお勧めすることはありません。最初から転医をご希望の場合には、この外来の対象とはなりません。
- ・ 実施当日、相談内容が[セカンドオピニオンをお受けできない場合]に該当する 内容であった場合は途中であっても中断いたします。  
※ 料金は経過した時間で発生いたします。
- ・ 相談中の録音・録画はご遠慮願います。

## 東京大学医学部附属病院セカンドオピニオン外来の診療科、対象疾患

診療科	対象疾患	
脳神経外科	良性脳腫瘍、頭蓋底腫瘍、未破裂脳動脈瘤、脳動静脈奇形	
	グリオーマ、悪性脳腫瘍	
	てんかん	
	ガンマナイフ	
整形外科・脊椎外科	後縦靭帯骨化症	
	頰椎症性脊髄症	
	黄色靭帯骨化症	
	リウマチ性頰椎疾患	
	脊髄腫瘍(原発)	
	脊椎腫瘍(原発)	
	胸椎椎間板ヘルニア	
	側弯症	
	関節リウマチの手術に関して	
	骨変性の矯正手術について	
	変形性股関節症、臼蓋形成不全	
	腰椎椎間板ヘルニア	
	腰部脊柱管狭窄症	
	先天性股関節脱臼、ペルテス病	
小児科	神経・筋疾患	
	腎・尿路疾患	
	遺伝相談	
	先天性心疾患(成人含む)、循環器疾患	
	免疫疾患、アレルギー疾患、膠原病	
	小児がん、腫瘍(悪性、良性)、血液腫瘍	
	内分泌代謝疾患、糖尿病	
眼科	緑内障	
	角膜・結膜疾患、角膜移植	
	黄斑疾患、網膜変性疾患	
	屈折矯正	
	糖尿病網膜症、糖尿病眼合併症	
	斜視、弱視、神経眼科疾患	
	白内障	
	涙道疾患、眼瞼疾患	
	未熟児網膜症	
	ロービジョン管理	
	ぶどう膜疾患	
	網膜剥離、網膜硝子体手術適応疾患	
	泌尿器科・男性科	前立腺癌
		腎癌
膀胱癌		
精巣癌		
尿管癌		

診療科	対象疾患
	前立腺肥大症
	腎結石、尿管結石
放射線科	悪性腫瘍に対する放射線治療
小児外科	先天性消化器疾患
(奇数週の月と金)	小児泌尿器疾患
	小児がん(小児固形腫瘍 : 神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫、奇形腫等)
	小児呼吸器外科疾患
	小児外科における鏡視下手術疾患
循環器内科	虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)
	不整脈
	心筋症(拡張型、肥大型、その他)
	高血圧症など
血液・腫瘍内科	白血病
	リンパ腫
	骨髄腫
	骨髄異形成症候群
	再生不良性貧血
	特発性血小板減少性紫斑病
	造血幹細胞移植
アレルギー・リウマチ内科	リウマチ、膠原病、および類縁疾患
	気管支喘息などのアレルギー性内科疾患(アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患は皮膚科でご相談下さい)
脳神経内科	神経内科疾患(脳・脊髄、末梢神経、骨格筋の疾患)
一般外科	腹膜播種を伴う胃癌(水曜日午後)
胃・食道外科	胃癌・食道癌の手術治療、手術適応(月曜日11時)
肝・胆・膵外科、人工臓器移植外科	肝がん、胆のうがん、胆管がん、膵がん、肝移植に関して
	劇症肝炎を含む急性肝不全など(火・木曜日12時)
呼吸器外科	肺がん、縦隔腫瘍、その他胸部疾患(第1・3木曜日15時～17時)
大腸・肛門外科	大腸・肛門疾患、大腸がん
乳腺・内分泌外科	乳癌、甲状腺癌
心臓外科	(火及び水曜日)虚血性疾患(狭心症、心筋梗塞)、弁膜症
	(水曜日)心筋症(拡張型、肥大型、その他)、心筋炎、心臓腫瘍、補助心臓治療
女性診療科・産科	婦人科良性疾患(子宮筋腫、卵巣嚢胞など)、鏡視下手術疾患、妊娠関連
女性外科	婦人悪性腫瘍
麻酔科・痛みセンター	(木曜日12時30分～13時)がん性疼痛、がん治療期の痛み
老年病科	(第1火曜日15時～)高齢者(65歳以上)の5種類以上多剤併用 ※お薬手帳必須

令和2年6月現在